

# 令和5年度 筑豊地区中学校総合体育大会 剣道大会 要項

主催 筑豊地区中学校体育連盟  
遠中地区各市町教育委員会  
主管 遠中地区中学校体育連盟

## 1 日 時

令和5年7月22日(土)

開 場 8時00分  
受 付 8時30分  
開 会 式 9時30分  
競技開始 9時50分

## 2 会 場

岡垣サンリーアイ ウェーブアリーナ

遠賀郡岡垣町野間 1-2-1

Tel 093-282-1515

## 3 参加資格

- (1) 筑豊地区中学校総合体育大会開催基準及び『特別規定』による。
- (2) 中学校における引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員(部活動指導員含む)とする。ただし、教育職員(部活動指導員含む)以外のコーチは学校長が認め、筑豊地区中体連に登録し承認を受けた者とする。

## 4 参加制限

団 体		嘉飯	田川	遠中	直鞍	合計
	男子	9	5	8	2	24
女子	4	2	5	1	12	

個 人		嘉飯	田川	遠中	直鞍	合計
	男子	10	7	9	6	32
女子	9	3	9	3	24	

## 5 表 彰

男女とも団体戦は3位まで、個人戦は1位のみを表彰する。

## 6 県大会出場資格

団体戦：男女ともに上位4校、個人戦：男女ともに上位5名は、7月29日(土)30日(日)に筑後広域公園体育館で開催される県総合体育大会への出場資格を得る。なお、県大会出場資格を得たチーム及び個人は県大会に参加する義務を負う。

## 7 申し込み

筑豊専門部長より各地区専門部長に選手登録名簿をメールで送り、それを出場校に送る。出場校顧問は入力後、下記へ7月14日(金)までに返送する。

返信用メールアドレス [ashichu@ashichu.town.ashiya.fukuoka.jp](mailto:ashichu@ashichu.town.ashiya.fukuoka.jp)

## 8 各地区専門部長

地区	氏 名	学 校	学 校 住 所	TEL	FAX	専門部長
嘉飯	高木 一恵	稲築西	〒820-0207 嘉麻市口春629	0948-42-0003	0948-43-0793	
直鞍	赤星 マミ	直方二	〒822-0002 直方市頓野4082	0949-26-0657	0949-26-0659	
遠中	今川嘉津麿	芦 屋	〒807-0113 芦屋町中ノ浜10-74	093-223-0058	093-223-0511	○
田川	小原 幹世	糸 田	〒822-1318 糸田町3349	0947-26-0027	0947-26-1276	

## 9 出場制限

団体戦の選手は、男女とも3～5名、補員2名とする。3名の場合は次鋒と副将を、4名の場合は次鋒を空ける。

## 10 競技規則

全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」「同細則」及び「剣道試合・審判運営要領」並びに本大会申し合わせ事項により行う。

申し合わせ事項とは、筑豊地区専門部会における確認事項および「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法」をいう。

## 11 競技方法

- (1) 団体戦は男女とも3校での予選リーグを行い、各パート1位による決勝トーナメント戦を行う。個人戦は、トーナメント戦で行う。
- (2) 試合順序は、男女共に団体予選リーグ、団体決勝トーナメントの順で行い、団体戦の決勝の後に男女個人戦を行う。

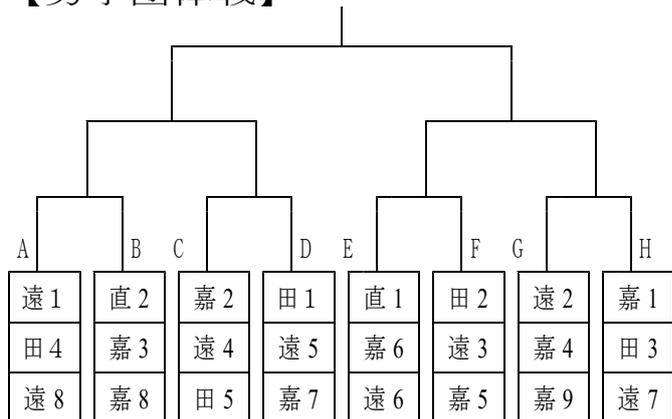
## 12 試合規則

- (1) 申し込み後のオーダーの変更はできない。メンバー変更については下記の通り。
  - ① 各試合開始前までに監督が審判主任に伝える。
  - ② 交代した選手は再出場できない。
- (2) 予選リーグは、3分三本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。大将戦を終えて勝数・取得本数が同数の場合は任意の代表者決定戦を行う。代表者戦は、3分一本勝とし、時間内に勝敗が決しない場合は決するまで延長戦を行う。
- (3) 予選リーグでの順位決定については、次のとおりとする。
  - ① 学校単位の勝数
  - ② 勝者数の合計
  - ③ 取得本数の合計なお、同数の場合は任意の代表者戦を行う。代表者戦は、3分一本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は決するまで延長戦を行う。
- (4) 決勝トーナメントは、3分三本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は、引き分けとする。大将戦を終えて勝者数、取得本数ともに同数の場合は任意の代表者決定戦を行う。代表者戦は3分一本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は決するまで延長戦を行う。
- (5) 団体戦、個人戦ともに県大会に出場が決定した後の順位決定戦（3位～6位）は行わず、抽選とする。
- (6) 個人戦は、3分三本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は勝敗が決するまで延長戦を行う。
- (7) 延長戦が長引いた場合は、熱中症予防のために給水タイムを取る。この場合、試合開始後10分経過で試合を中断し、面をとってから2分間の給水タイムとする。その後は7分-2分-7分を繰り返す。給水の際に監督やコーチなどからのアドバイスはできない。
- (8) その他
  - ① 竹刀は1m 14cm以内とし、重さは男子440g以上、女子400g以上とする。竹刀の先端部分の直径は、男子25mm以上、女子24mm以上とする。竹刀先革の長さは50mm以上とする。新型コロナウイルス感染予防のため竹刀検量は行わない。そのため選手および監督は事前に十分、竹刀の破損等を確認しておく。
  - ② 面ひもの長さは、結び目から40cm以内を厳守する。長い場合は試合の前後で切断する。
  - ③ コーチの服装は審判員に準ずる。
  - ④ 「変型な構え等の防御姿勢（いわゆる三所隠し等）」をとった場合、1回目を合議の上「指導」、2回目以降は合議の上「反則」とする。
  - ⑤ 柄革に滑り止め（ゴム等）や模様のついた竹刀の使用を禁止する。
  - ⑥ 大きさ、模様を含めて華美な面乳革の使用を禁止し、黒及び紺の無地とする。

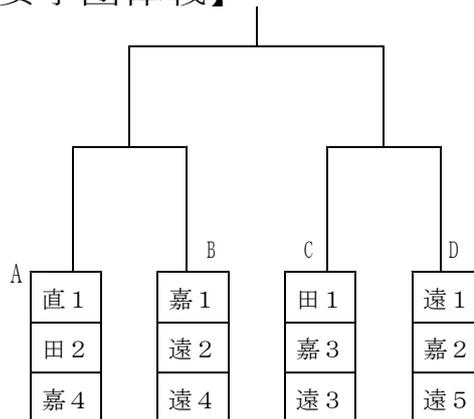
## 13 申し合わせ事項

- (1) 筑豊地区最高の中学生の大会であることを認識し校長の責任の下に大会参加生徒のマナーについては、指導の徹底を図る。マナーチェックを競技開始前までに実施する。
- (2) 選手は「面マスク」または「シールド」を装着する。
- (3) 選手および保護者の応援は拍手のみとする。

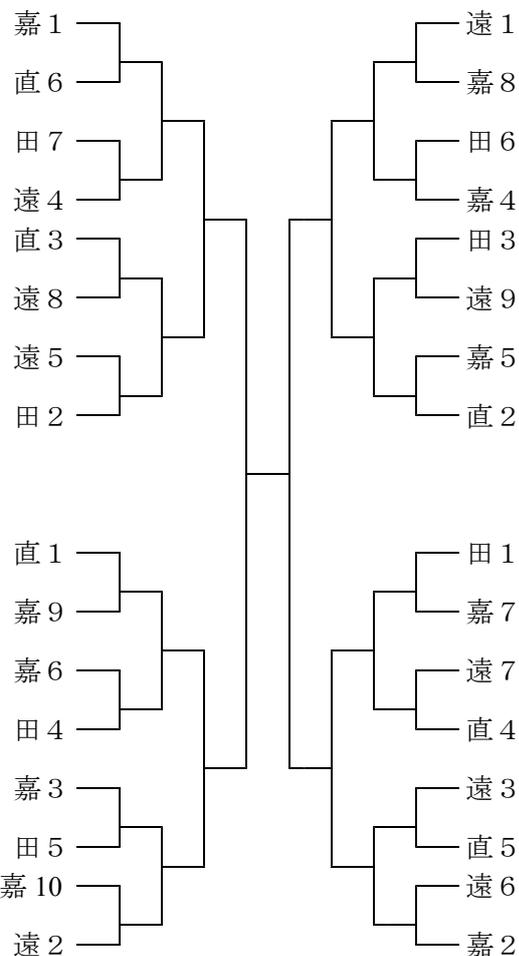
14 組み合わせ  
【男子団体戦】



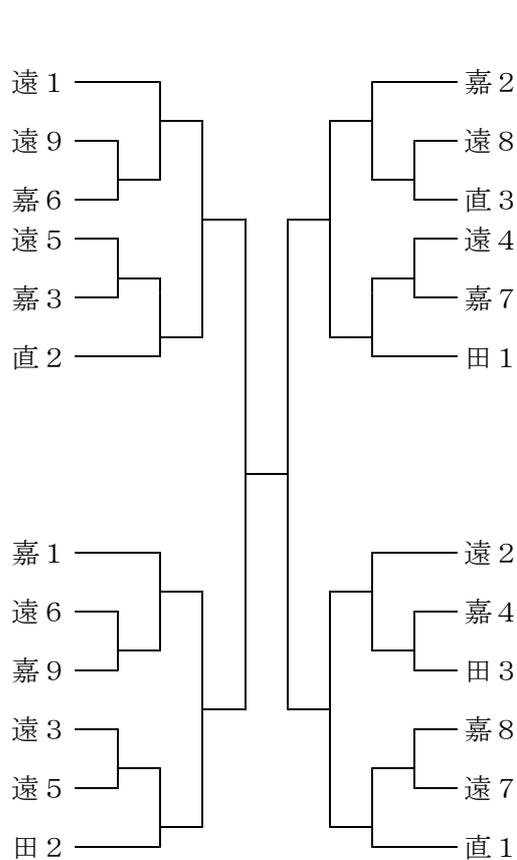
【女子団体戦】



【男子個人戦】



【女子個人戦】



※ 予選リーグの試合順序は、各市郡大会における通過順位で上位から①、②、③とすると、第一試合を①-③、第二試合を②-③、第三試合を②-①とする。

団体の各地区の参加数及び組み合わせは毎年見直す。個人戦の組み合わせについては隔年で見直す。(次回は令和6年度見直し)

15 その他

- (1) つば競り合いの解消に至る時間は「一呼吸(目安として3秒)」とする。相互に分かれようとしている途中の打突は有効としない。分かれようと思わずに打突する行為は反則を適用する場合がある。
- (2) 審判旗は各自で持参して使用する。審判員はマスクを着用しない。控え席でのマスク着用は個人の判断とする。
- (3) AEDは事務室に設置している。